

（コースタイムなどは、後日とします。）

◇北沢峠は、今回が初めてだった。歌宿からスーパー林道を歩いて、途中で 2000 年ころ Tさんと登ったの鋸岳・尾根が対岸に見えた。5/3 は雲に隠れていたが、下山の 5/6 はほぼ全容が見えた。「危険な沢に迷い込んで、やっと尾根に出たのが夕方 5 時頃、尾根中央のくぼんだところに、出てしまったのだろう。それから、通常は懸垂下降するところを登り返して、雨も降り、ビバークするところも無く夜通しで歩いた。・・・」

話がそれましたが、北沢峠のキャンプ場は、静かで良いところだった。まだ、テントが少ないせいと思うが？

◇2日目仙丈ヶ岳も初めてだった。登りはじめは林の中だったが、森林限界を超えるとなだらかな雪面が広がっていた。一気に雪山・冬山といった感じであった。天候は雲がかかったり、日が差し替わりの変化に満ちていて、だいぶ上部に登ってからガスの切れ間からピークが見えるともうすぐ頂上かな？と思うとまた先があり、何度も裏切られた。なだらかだけと思ったら、両側が切れたやせ尾根もあり、緊張した。

頂上からの眺めは、雲もあったが北岳方面がすばらしい眺めであった。

◇3日目甲斐駒ヶ岳は、2 年ほど前の秋に黒戸尾根から登ったが、残雪の時期は初めてであった。この日は晴天で、森林限界を超えると、青空の下に昨日も見えた北岳はもちろん、中央アルプスまで良く見えた。コースは岩場となり、久しぶりの 12 本アイゼンでの岩登りであった。大きな岩は、本当の岩登りで、アイゼンの置き場、手の位置を考えないと登れなかった。わくわく感があり面白かった。頂上に着くと石のほこらがあって、2 年前別のメンバを着た事を思い出した。また、来れて良かった



←仙丈ヶ岳の下山・バックは北岳



↑甲斐駒登り・後は仙丈ヶ岳



←甲斐駒・頂上にて